

2025 年 2 月 28 日 やどりぎ案内

令和 6 年度
福島県 集落自主活動に係る伴走支援事業
業務実施報告書



<目次>

1. はじめに ... p.3
(やどりぎ案内、西会津奥川について)
2. 今年度の活動「土地への宿り方」 ... p.4
(目的やスケジュールなど)
3. 活動内容の詳細
 - 3-1. 展覧会 ... p.5
 - 3-2. シャッターアート ... p.6
 - 3-3. 集落との関わり ... p.9
5. おわりに ... p.10
(来年度以降のことなど)

1. はじめに

やどりぎ案内は、2021年から西会津町中町集落でアートプロジェクトを実施している有志団体です。現在、東京藝術大学・武蔵野美術大学をはじめとする東京都内の美大生、卒業生を中心に、8名程度が流動的に参加しています。福島県西会津町の奥川地区中町集落で4年間活動しています。

西会津町は、福島県の西北部、耶麻郡にあり、東経139度38分57秒、北緯37度35分14秒に位置しています。周囲は東に喜多方市及び会津坂下町、南に柳津町、金山町とそれぞれ接し、北及び西は新潟県阿賀町と接し、会津の西の玄関口と言われており、「会津の霊地」信仰の里として古い歴史と美しい自然に恵まれた人情味豊かな町であります。町の広さは東西17.55km、南北34.50kmで、面積298.18平方kmを有していますが、その約86%は山林になっています。

奥川地区中町集落は、西会津町の北部に位置する山間地域です。合併して西会津町となった当時から人口減少が進み、高齢化の進行や若年層の減少、子どもの減少により、地域活力の低下が懸念されています。これまで地域活性化のために奥川地域づくり会議による加工所の設立・運営や、奥川健康マラソン等の地域イベントを開催するなど、地域おこし活動が活発に行われてきましたが、近年ではコロナ禍や人口減少の影響により活動は停滞しつつあり、鳥獣害の増加や農地の荒廃等、地域を維持していくのが困難な状況になりつつあります。

中町集落では、「**過疎化**」と「**高い高齢化率**」が進んでいる状況にあり、町外の若者と集落を繋ぐきっかけを作り、「**関係人口の創出**」を促す必要があります。そのため、やどりぎ案内がアートプロジェクトを通して目指すのは、観光事業の発展ではなく、集落の方々と我々が親交を深めるための場をつくり、それによって自らが「関係人口」となることである。

これまで実施したアートプロジェクト＜もの語りの層＞、＜やどりぎ案内2023「えんの繋ぎ目」＞をはじめとする、年3、4回の集落での活動から、集落住民の方々に「やどりぎ案内」という名前や個人名を覚えてもらえるようになり、自らが「関係人口」として集落の方々と距離が縮まっている様子を実感できている。活動4年目を迎える今年度は、これまでの活動を記録した**展覧会「土地への宿り方」**を実施した。展覧会では、町内外から観覧者が訪れ、奥川地区中町集落での「やどりぎ案内」の活動を伝えることができた。また、昨年度に引き続き、集落内での**シャッターアート制作**を行いました。

2. 今年度の活動＜土地への宿り方＞概要

2024年8月は、西会津町の文化拠点「西会津国際芸術村」と奥川地区中町集落内各所にて、アートプロジェクト＜土地への宿り方＞を実施した。＜土地への宿り方＞では町内での展覧会と、集落でのシャッターアート制作を行った。
展覧会では、これまでの活動を振り返るアーカイブ展示を西会津国際芸術村で行い、集落内では、個人の作品が点在し作品を通して改めて自分たちの自己紹介をするような展示を行いました。

活動スケジュールは以下の通りです。

夏の展示期間には、準備から撤収にかけて、約1ヶ月以上滞在しました。

＜展覧会「土地への宿り方」・「シャッターアート」の公開制作＞

スケジュール

* 事前リサーチ

4/24(水)～4/30(火)

* 準備期間

7/19(金) 移動日

7/20(土) 奥川地区での人足ボランティア参加

7/20(土)～7/31(水) 展覧会準備

* 展示期間

8/1(木)～8/31(土)

* シャッターアート公開制作

8/10(土)～8/15(木)

* 振り返りトークイベント・撤収

8/31(土) トークイベント「土地への宿り方を考える」開催

9/1(日)～9/3(火) 撤収

3. 活動内容の詳細

3-1. 展覧会



展覧会では、「西会津国際芸術村」と、集落内にある廃校を活用した「奥川みらい交流館」や「味処さかや」店内、住宅の玄関先など、さまざまな場所にメンバー個人の作品を展示しました。

西会津国際芸術村では、これまでの活動を振り返るアーカイブ展示や、メンバーの個人の作品の展示を行いました。展示期間中は集落の方だけではなく、他の地区の町民や近隣住民、首都圏から訪れた方など、多くの方にご覧いただきました。さまざまな方に活動を知ってもらう機会となり、また、私たち自身も活動を振り返り、集落との交流を再考する機会となりました。



3-2. シャッターアート



昨年度に引き続き行った集落内でのシャッターアートでは、集落内の食堂「味処さかや」の敷地内のシャッターに制作いたしました。味処さかやは、高齢のご夫婦が営む集落唯一の飲食店で、地域内外からお客さんが集まり賑わいを見せています。やどりぎ案内は、集落に通い始めた頃から味処さかやのご夫婦にお世話になっており、集落に訪れれば必ずご挨拶に伺っています。食堂のラーメンを食べながらご夫婦とおしゃべりに花を咲かせ、長居することが常です。また、私たちが集落にいるとおかみさんは「大学いも作ったよ」というような電話をくれて、差し入れてくださいます。食堂のご飯が美味しいのはもちろんのこと、私たちはご夫婦に会うのが楽しみで味処さかやの暖簾をくぐっています。そんな「味処さかや」のお二人にお礼がしたいという思いで制作したのが今年度のシャッターアートです。

味処さかやは、今のご主人の代になってから食堂を始めたそうですが、それまでは名前の通り酒屋さんでした。絵を描いたシャッターは、その当時の酒蔵のシャッターです。そんな酒屋時代のお話や、お二人の集落での思い出などを聞きながら描くテーマを決めていきました。地元の山である飯豊山や、お酒のラベルで使われていたツバメなどをもとに描いたのが今年度のシャッターアートです。



【展覧会概要】

展覧会名: やどりぎ案内 2024 土地への宿り方-石を持ち上げる、確かめる-

会 期: 2024年8月1日(木)~ 31日(土)

〈特別イベント〉シャッターアート公開制作: 8月12日(日)、13日(月・祝)

開館時間: 10:00-17:00

休 館 日: 毎週月・火曜日 祝祭日を除く、臨時休館日あり

※中町集落の作品は屋外に設置してあるためいつでもご覧いただけます。

会 場:

【第一会場】西会津国際芸術村

福島県耶麻郡西会津町新郷大字笹川上ノ原道上5752

【第二会場】奥川地区 中町集落

福島県耶麻郡西会津町奥川大字飯里上ノ原37-1(奥川みらい交流館)

【特別イベント】シャッターアート公開制作「味処さかや」横のシャッター

福島県耶麻郡西会津町奥川大字飯里中島1526

主 催: やどりぎ案内

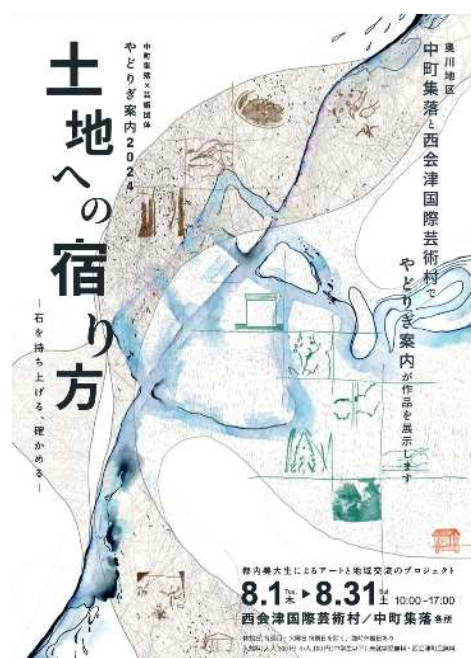
共 催: 西会津国際芸術村

後 援: 西会津町

協 力: 奥川地域づくり協議会

受託事業: 福島県 令和6年度「集落自主活動に係る伴走支援事業」

*開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。



3-3. 集落との関わり



集落内での展示では、集落の方々のご協力を得てさまざまな場所で展示を行い、また作品制作を地域の方に手伝ってもらったこともありました。

また今年度は滞在期間が長く多くの方との関わりがありました。人足など地域の活動や、盆踊りの練習、またお祭りのお面を作ったり、盆踊りの横断幕の装飾を頼まれたりと自分達の活動以外での関わりが多くありました。集落を越えて、奥川地区の他の集落の方とも話す機会が増えました。例年以上に地域の方との交流が盛んに行われ、より地域との関係が深まったように思います。



5. おわりに

やどりぎ案内が実施した＜土地への宿り方＞では、展覧会という形でこれまでの集落での活動を振り返ることで、我々の活動をより多くの方に認知してもらうことができました。今年度はメディア掲載の機会も多く、読売新聞、福島民報新聞での掲載、NHK福島「ハマナカあいづTODAY」、BSよしもと「小倉淳の47フォーカス」、西会津町ケーブルテレビでの放送、また美術系WEBメディア「web版美術手帖」「Tokyo Art Beat」にも掲載いただきました。

また、私たち自身も活動を振り返ることができ、集落のこと、集落で活動する意味、今後目指したいことなどを再考でき、これからの活動に繋げることができたのではないかと感じています。

私たちは、前年度と今年度合わせて2つのシャッターアートを集落内で制作しました。半永久的に集落に残るシャッターアートを制作することに象徴されるように、地域外からやってきた若者が継続的に集落に関わることは、少なからず双方に影響を与え合うことだと実感しています。私たちにとっては、中町集落は「また帰ってきたい」と感じる思い入れ深い特別な場所となっています。今後も関係人口として関わっていくことで、集落にとっても私たちにとってもお互いに良い影響を与え合えるような状態を目指したいです。

やどりぎ案内は年々学生を終えるメンバーが増え、当初は学生中心のグループでしたが、来年度以降は学生の方が少なくなっています。徐々にこれまでのような活動が難しくなっていますが、メンバーの生活スタイルの変化に合わせて、今後も無理なく集落との関係を継続していきたいです。

引用

西会津町HP <https://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/soshiki/1/5.html>

奥川地域づくり協議会 https://note.com/24aizu_okugawa/n/nc86a79fc99f7